

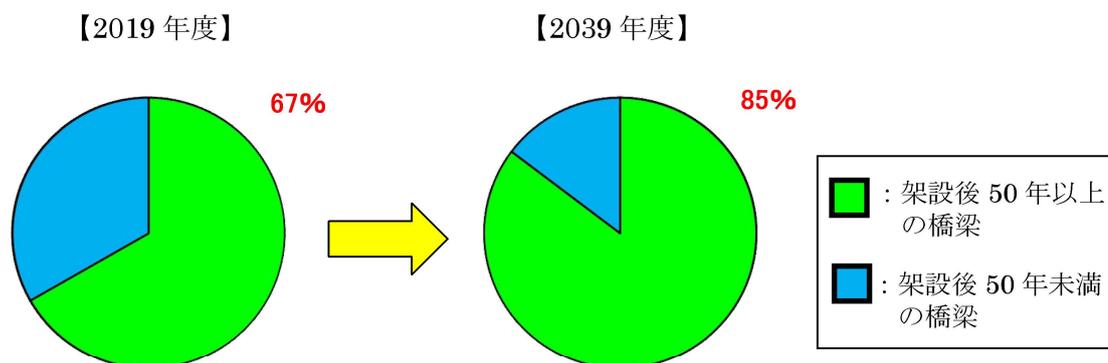
臼杵市 橋梁長寿命化修繕計画

臼杵市 建設課

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 背景

- ・白杵市では高度経済成長期以降に集中して建設された橋梁の老朽化進行により、今後大規模な修繕や架替えを必要とする橋梁が急増することが予想される。
- ・白杵市の長寿命化修繕計画対象橋梁 442 橋（管理橋 444 橋）のうち、供用後 50 年以上を経過した老朽橋は現在約 67%であるが、20 年後には約 85%となり急速に高齢化が進展している。
- ・上記条件下で従来の対症療法型維持管理を行った場合、厳しい財政制約により必要な修繕や架け替えが実施困難となり、道路利用者に対する安全性が確保できないことが懸念される。



2) 目的

- ・これまでの事後保全的な維持管理から予防保全型維持管理への転換を図り、橋梁の長寿命化修繕計画に基づいた計画的なコスト縮減を図る。

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	1 級市道	2 級市道	その他市道	合計
全管理橋梁数	91	49	304	444
うち計画の対象橋梁数	91	49	302	442
うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	0	0
うち令和元年度計画策定橋梁数	91	49	302	442
・全体の管理橋 444 橋のうち 442 橋に対して令和元年度に修繕計画を策定した。				

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的な方針

健全度の把握については、平成 26 年～令和元年に実施している大分県の橋梁定期点検要領の判定基準に基づく定期点検の結果を基礎資料とし、今後についても定期的に点検を実施し、橋梁の損傷を早期に把握する。

2) 日常的な維持管理に関する基本方針

橋梁を良好な状態に保つため、橋梁点検・清掃などの実施を徹底する。

○日常点検

- ・路上巡回等により交通安全性を著しく損なう恐れがある損傷を確認
- ・構造的損傷（支承の損壊や床版の抜け落ちなど）の恐れがある路面変状が確認された場合は、直ちに詳細な点検を実施する。

○橋梁維持修繕の徹底

- ・路面清掃
- ・排水管、排水ますの土砂撤去
- ・沓座の堆積土砂、雑草、雑木の撤去 など

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係わる費用の縮減に関する基本的な方針

○定期的な健全性の把握及び日常的な維持管理の基本方針とともに、これまでの事後保全型維持管理から、予防保全型維持管理への転換に努め、橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係わるコストの縮減を図る。

○早期に対策を施すべき橋梁の修繕を優先しながら、長寿命化が期待できる修繕（表面被覆、橋面防水の設置、伸縮装置の非排水化等）を予算の範囲内で前倒しして行うことを計画する。

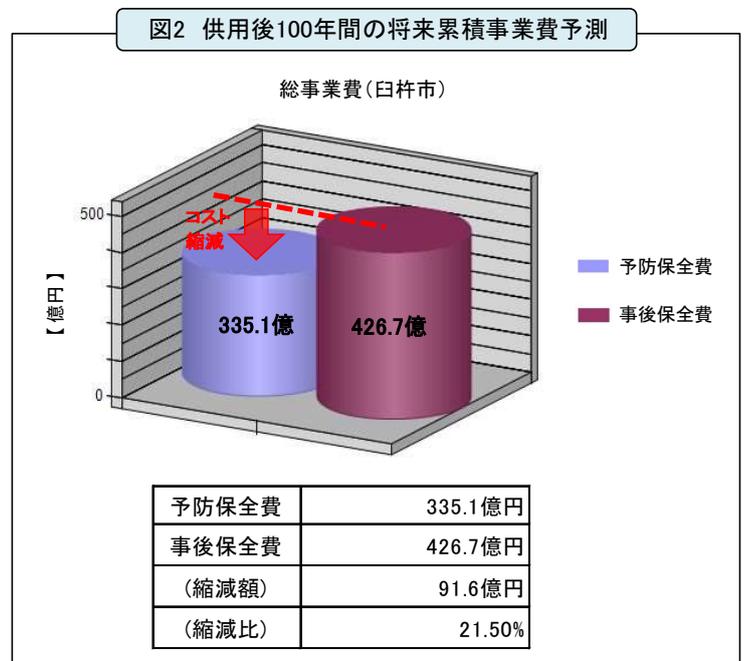
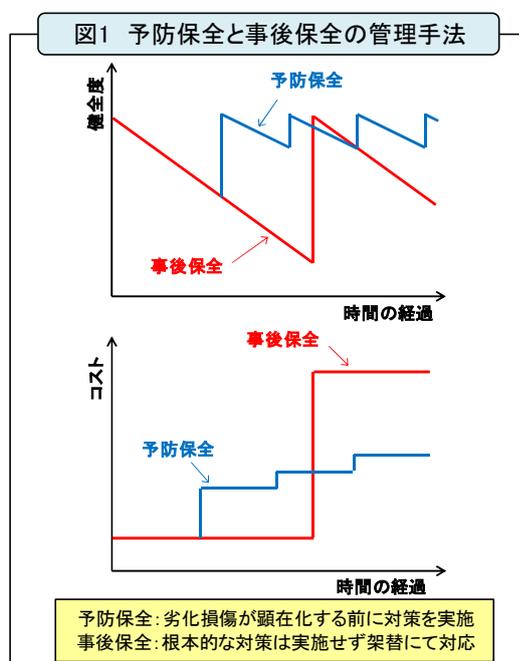
5. 対策の優先順位の考え方

○早期に措置を講ずべき必要がある区分「Ⅲ」と判断した橋梁については、損傷個所数や損傷程度を考慮し、優先的に対策を講じる。

○第三者に対する安全性に著しく影響を及ぼし、緊急的に対応が必要な損傷がある橋梁を優先する。

6. 長寿命化修繕計画による効果

- 損傷が深刻化してから大規模な修繕を実施する従来の事後保全型の維持管理から、定期的な点検を実施することによって損傷状況を把握・予測する。そのうえで適切な時期に早期予防保全型の計画に沿った維持管理を行うことにより橋梁の長寿命化を図り、コスト削減を実現する。
- 橋梁点検により現状を把握しながら適切な修繕工事を実施することで、橋梁の安全性が確保され、市民生活の安全性が確保できる。
- 橋梁点検結果を使用して、本市における管理橋梁劣化の状況の把握と対策優先順位を決定し、対策後の結果も反映できる管理システムを構築し、常に的確な保全が行える状態を維持する。
- 管理橋梁の状態や修繕・更新に係る費用を予測しつつ、現行予算執行体系に合った修繕計画を策定することで、計画的な修繕や架け替えが可能となる。



7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署

臼杵市 建設課 TEL 0972-63-1111

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

(臼杵市橋梁長寿命化修繕計画検討委員会委員)

大分工業高等専門学校 都市・環境工学科コンクリート工学講座 一宮一夫 教授